



雲青き

さいたま市立大成中学校 学校だより

令和5年4月28日



部活動の意義

校長 浅野 克裕

今年は、例年よりかなり早く桜が開花し、新入生の入学を待ってくれませんでした。また、最近では、上着が要らない程の暖かい日が続いたり、急に肌寒くなったりするなど、寒暖差が激しくなっています。そのような中、先日は、部活動保護者会及び学級懇談会のために御来校いただきありがとうございました。

さて、部活動保護者会全体会では、大きく2つ、以下のような内容をお話させていただきました。

部活動とは、生徒が自分の特技や好きなことを選び、主体的に取り組む活動であり、技能や体力の向上、忍耐力や集中力、協調性や責任感などの心を鍛え、心を成長させる場、であると考えます。また、学年やクラスの枠を超えて一つのことに取り組み、豊かな人間関係を築く場でもあり、仲間と共に同じ目標に向かって努力することを通して、中学校生活を意欲的に充実した毎日とすることができるなど、生徒にとって中学校生活の中で大きな位置を占めています。さらに、部活動に取り組むことにより様々な成果が期待されます。

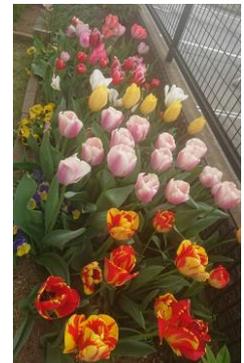
このようなことから、本校では、その意義を重視し、部活への加入を勧めております。また、国や各自治体からは、部活動に関する「ガイドライン」などが示され、本校でもそれに基づいて活動しております。今年度も「ガイドライン」に基づいて活動いたしますが、大会や発表会等の関係で、一部例外がある場合も出てきますので御理解ください。

実は、「部活動ガイドライン」には、教職員の働き方改革も関係しています。また、現実問題として、今ある部活を存続していくことすら難しいのが、本校のみならず、さいたま市や埼玉県、全国的な課題となっているのが現状です。しかし、このような状況の中でも本校教職員は、部活動の意義について理解し、協力して取り組んでくれています。授業はもちろん、様々な校務をかかえながらの指導になりますので、それを仕事としているスポーツ教室やクラブチームのようにはいきません。そして、私たち教員の人事異動は、教科によるものであり、部活動での異動は行われておりません。御理解ください。

さらに、「部活動の地域移行」という言葉を聞いたことがある方もおられるかと思います。これは、学校から部活動を切り離し、地域や地域の指導者に部活動を移行していくというものです。しかし、完全に実施されるまでは、まだまだかなりの時間がかかりそうです。

これらのことを御理解いただき、お子様の部活動への応援をよろしく願います。

☞ 左上は、黄色の君子欄です。
庭に咲いたチューリップです ☜



《生徒の皆さんへ》

新しい仲間、新しい教室、新しい環境には、もう慣れましたか？ 入学式・始業式でも話しましたが、どんなことにも全力でチャレンジし、120%の力を発揮してもらいたいと思っています。そして、常に、どんなことにも本気で、全力で、真剣に取り組む姿勢を大切に生活してください。

『明日からの9連休、部活にプライベートに、規則正しく、有意義に。』